

平成30年度 総合教育会議 会議録	
1 日 時	平成30年10月22日（月）午前9時30分～10時30分
2 場 所	委員会室
3 出席者	町 長 大堀 武 総務課長 岡崎 利光 総務係長 寺島 一宏 教育長 佐々木孝司 職務代理者 高崎 義典 委 員 森 祥子 委 員 大須賀美穂 委 員 小林 成子 教育総務課長 佐藤 茂文 教育総務課課長補佐兼指導主事 山田 徹
総合教育会議 議事次第（司会進行 総務課）	
PART 1	本日の会議の説明（総務課長）
PART 2	町長が教育行政への思いをを語る
PART 3	各教育委員からの意見聴取
PART 4	町長からの総括
〔開会時刻：午前9時30分〕	
寺島係長	<p>おはようございます。予定された時刻となりました。ただいまから平成30年度総合教育会議を始めたいと思います。司会を務めさせていただきます総務課の寺島です。よろしく願いいたします。</p> <p>はじめに、本年度は9月26日に新町長として大堀武町長が就任なさいました。また、今月1日に教育委員の大須賀美穂委員が再任になりましたことを報告させていただきます。</p> <p>つきましては、御出席の皆様と担当者の方々に自己紹介をお願いします。まずは、大堀武町長よりお願いします。</p> <p><出席者全員と担当の自己紹介></p> <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、はじめにお願いを申し上げます。</p> <p>本日は、議事録作成の関係上、御発言の際には御氏名を告げていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは本日の総合教育会議の進行について申し上げます。別添次第を御覧下さい。そこに記載しておきましたが、本日の会議を4つのPARTによって進めたいと考えます。</p> <p>ご協力をよろしく願いいたします。それではPART1です。</p> <p>岡崎総務課長よろしく願いいたします。</p>
岡崎総務課長	<p>総務課長の岡崎です。よろしく願いいたします。</p> <p>平成27年度から教育委員会制度が変わり、全国すべての都道府県及び市町村に首長が主宰する「総合教育会議」の開催が義務付けられました。会議開催の回数につきましては、教育総務課からの意見も踏まえまして担</p>

寺島係長	<p>当間で協議し、昨年度からは「年に1回、10月開催」で行うこととなっております。今年度は日程調整の上で、本日招集の運びとなりました。</p> <p>さて、本年度はお手元に配布しております昨年度の会議録内容を参考にさせていただきながら、今年度の教育活動を中心として、町行政との関連も視野に入れての意見交換を行っていただきたいと思います。</p> <p>なお、本日意見交換されました内容につきましては、後日、町ホームページ上で公表いたします。町行政と教育委員会がお互いに共通理解を図った内容等は、復興に向けて加速しております「新しい町づくり」の参考にさせていただきます。</p> <p>それでは、教育委員会を招集して行う平成30年度「総合教育会議」を開催いたします。</p> <p>なお、PART2では「町長が今年度の町行政と教育を語る。」ということで町長より話しをいただきます。</p> <p>PART3では、各教育委員の皆様及び教育長からお一人ずつ御意見を述べていただきます。</p> <p>その際、今年度を振り返りながら教育委員として、お気づきの点などにつきましてお言葉をいただきたいと思いますと考えております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>最後のPART4では締めくくりとして、町長から「まとめの言葉」をお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、PART2に移ります。町長よろしく願いいたします。</p>
大堀町長	<p>寺島係長からも紹介がございましたが、9月26日に新地町長として就任いたしました大堀武です。よろしく願いいたします。</p> <p>東日本大震災から7年半が経過し、今年は8年目に入っています。</p> <p>私は東日本大震災の時、総務課長として役場に勤務し5月に役場を退職いたしました。6月からは社会福祉法人「しんち福祉会」の理事や施設長として、地域の高齢者福祉を担ってきました。町の復旧・復興の様子も見てまいりました。高齢化が進む中で、「生まれて良かった、住んで良かった、これからも住みたいと思える町づくり」を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>さて、平成27年4月1日施行の法律改正内容では首長と教育委員会で構成する「総合教育会議」は首長が教育行政に果たす責任、役割を明確にしなければならないとされました。そして、公の場で教育政策に議論することが可能になったということでございます。また、首長と教育委員会が協調して調整することで教育政策の方向性を共有し一致して執行していくということが可能になったということは非常に良いことだと思っております。これより教育委員会制度改革は5つのポイントというんですが、実質4つですね。まずは教育委員長と教育長の一本化、これはもともとは、教育委員長を、町が任命していないということもあったようです。執行部と教育委員会の方向性が違ったということも全国的にはあったということで、それらを排除するために、このような一本化になったのだと思います。さらに2つ目は教育長へのチェック機能の強化と教育委員会の透明化という大きな部分がございます。そこで、3つ目は総合教育会議が首長の招集により実施をされるようになったということでもあります。4つ目はです</p>

ね教育に関する大綱を首長が策定するとなっております。さて、国でこの「総合教育会議設置」を提唱したのは、学校・家庭・地域教育への危機感や少子高齢化社会への対応を考えて学校・家庭・地域教育への危機感や少子高齢化社会への対応を考えてのことだと感じております。そこには、町行政と教育行政が手を握り合いながら「未来を担う、心豊かで、たくましい子ども達の育成」を図ることと高齢社会に突入している現在、「高齢の皆さんが意欲を持って地域社会で積極的に活動できる生涯学習社会の構築と活性化」に努めるようにとの意図があったからだと認識しております。

さて、この度の町長選で私は5つの柱を申し述べておりますが、簡単に発言させていただきますと、

1つは、町長は町民の代表として、「町民の思いを反映する町行政」を行うこと。

2つ目は高齢者に寄り添った施策を展開する中で、道路、防災などを常に心に留め、「地域の安心・安全に努める」こと。

3つ目は、子育てに関することで、保育や児童生徒、そして若者など「次の世代に対する多くの課題の解消に邁進する」こと。

4つ目は、「活力があり、元気が見える人と産業の姿形成」を積極的にサポートすること。

5つ目は、自然環境を生かした景観づくりに努め、新地町に住んでいる人も訪れる人も、自ずと心が潤う「魅力あふれる町づくり」に町民と共に尽力すること。

この5つを挙げております。

大きく立派な樹木も地盤と根がしっかりしていなければ、美しい花を咲かせたり、みずみずしい葉を輝かせることはありません。

新地町民が心を合わせることが、何にも負けない堅固な地盤の形成であると感じております。みずみずしい葉の一枚一枚は町行政の施策ではないかと思いをめぐらしてしております。そのためにも、私は町民の思いを汲んだトッリーダーとして町民との絆を大切に、確かな一歩を歩み続けたいと考えております。

さて、教育関係ですが、私も子育てでは小学校、中学校、高等学校、またその上とPTA役員として携わった経験から、教育に関しても様々な角度からの思いを抱いております。今回は町長という立場ですが、教育委員の皆さんがお感じになっている教育への率直な思いをお聞きすることができるといことで楽しみにしておりました。

7年以上前になりますが、平成23年3月、私は当時役場におりましたが、東日本大震災及び津波、そして原発事故は教育面にも大きな影響を与えたと認識しております。東西南北、7km四方にも充たない新地町ですが、津波により住居が流失してしまったばかりでなく、119名の尊い命が失われもしました。ようやく学校に登校できた子供達ですが、肉親や親戚の方を亡くしたりして精神的にも不安定な時期が続いていたように思います。

その他にも原発事故による姿の見えない放射能への不安もあり、食生活においても地場産物の活用に戸惑いが生じていました。また、除染作業により校庭での活動が制限されました。

そのことも健康面では運動も十分ではなく肥満体質の子供達が増加したなどの課題もあらわれたように思います。

	<p>さて、教育委員会では「夢を育み、可能性を伸ばす」との教育目標を掲げ、各学校とも頑張られておいでのようです。今月付けで大須賀委員が再任なされました。保護者の代表としてよろしく願いいたします。私にとっては、初めての「総合教育会議」となります。昨年度の内容は拝見させていただきましたが、初めてということもありますので、初々しい新鮮な気持ちで委員の皆さんの御意見を拝聴したいと思ひます。</p> <p>子供の健やかな成長と新地町の活性化を願う心は、委員の皆さんも同じであると推察いたしております。</p> <p>どうか、リラックスなされて新地町の教育活動などについて、忌憚のない御感想や御意見を頂戴できればと思ひます。</p> <p>以上ですが、町長として教育委員会とともに、子供達は勿論、町民の皆さんの元気と笑顔があふれる町づくり・人づくりを町民の皆さんと同じ目線でも推進してまいりたいと思ひておひますので、よろしく願いいたします。</p>
寺島係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、PART 3に移ります。教育委員の皆さまから御意見をいただきます。時間の都合上、簡潔にお願いできればと思ひます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>まずは高崎職務代理者様、よろしく願いいたします。</p>
高崎職務代理者	<p>私からは新地町の文化財関係についてお話させていただきます。新地町には「三貫地貝塚」、「新地貝塚」そして城跡には駒ヶ嶺の「臥牛城跡」、「新地城跡」と数々の史跡があるわけですが、その中でも特に大震災で流されはしましたが明治5年の学制頒布前に始まった学校ということで「観海堂」があったわけでございます。その当時の人々が戊辰戦争で荒涼となったこの地にこれから必要な物は教育だということで11ヶ村の村々の人達が私財を出し合って教育に力を注いだわけですが、その中で氏家先生を招いて「観海堂」で多くの方が学び、その中で学んだ中に高野孟矩という方がおられます。なかなか町民の方に言ってもピンとこないんですが、この方はその当時の台湾高等法院長になられた方です。そして、新地町出身の方でもあります。数々の新地町出身、「観海堂」で学んだ方々がいるわけですが、残念ながら町民の人達はその事柄を知らないままに現在にきています。歴史的資料も新地町には多く町内各地に点在しているわけですが、それら貴重な資料も当然だんだん廃れていく状態になろうかと思ひます。そのような貴重な資料を展示、保存そして子供達にそのことを伝える場というのがこれからは必要なかと思ひます。歴史を大切に、町づくりということで進めていただきたいと思ひます。今回初めて調べて分かったんですが氏家閑存先生が、その「観海堂」という名前を付けたのは海を見なければ海の良さを知らない、私達はその井の中の蛙だとしたらその場所しか知らない、海の大きさを知ることによって改めて多くの事柄を知ることが出来るということであったとあります。ですから深く学問を学び、いろいろな経験によって海の大きさを知ることによって「観海堂」という名前が付けられたそうです。その精神をどうか町づくりに生かしていただきたいと思ひます。以上です。</p>
寺島係長	<p>ありがとうございました。</p>

	<p>続きまして森委員様、よろしくお願いいたします。</p>
<p>森委員</p>	<p>私は、中島地区に在住しております、日々住宅が増えていくのを見ながら生活しております。今朝も議会だよりが届きましたが、子育て世代は新地町が住みやすいと言われるような町づくりを今後お願いしたいと思っております。私は生涯学習についてお話したいと思っております。教育委員会としても子供中心になると思うんですけども、やはり町民の方達にとっては赤ちゃんから高齢者までという事が教育委員会の生涯学習ということで関わっていかねばいけないところだと思います。21世紀はボランティアの時代と言われ、ボランティアが必要、ボランティアで活動していかねば高齢者にとってもボランティア、子供達にとってもボランティア、日々の生活にボランティアは欠かすことができないと感じております。ボランティアコーディネーターという方が必要になってくるのではないかなということを感じております。実際、今年度、8月に「やるしかねえべ祭」が最終ということで次年度にはもう「遊海しんち」がまた始まるのかなということをお聞きしておりますので、その点についてもやっぱりボランティアの力というのは必要なかなと思います。ボランティアコーディネーターを置くということで生涯学習課というのが必要になるのではないかと思います。現在、教育委員会は教育総務課の中に生涯学習係というのが存在しておりますが、以前、震災前については生涯学習課というものがありまして、そこでそれぞれスポーツ、文化、社会教育、いろいろ学校教育とは離れた部分の地域の方の教育がなされてきたと思うんですね。それが最近ちょっと足りないのかなと感じることがありますので、是非、生涯学習課の復活というのをお願いしたいと思っております。また学校訪問などで学校内を見せて頂くのですがやはり経年劣化というか、補修、修繕が必要なところも多く見られますのでその部分も計画的な予算の配置をお願いしたいと思っております。図書館なども図書支援員さんや司書さんの増加が大切であることは感じております。子供達また高齢者の皆さんのためにも社会教育の部分でも図書館の充実が大切でありますので、その辺も継続して予算の充実をお願いしたいと思っております。以上です。</p>
<p>寺島係長</p>	<p>ありがとうございました。 続きまして、大須賀委員様、よろしくお願いいたします。</p>
<p>大須賀委員</p>	<p>10月1日に保護者の立場で二期目を任命されました。その目線でいくつかお話をさせていただきたいと思っております。今年度は前年のない酷暑によって、大変暑い日が続きました。そのために国からも補助もあると思うんですけども、年間通して学校を視察させていただいてその時にも要望にあったんですが、一部の学校では冷暖房等、特に暖房が効きづらい状態と聞いております。また来年度もおそらく暑くなるという心配もありますし、繁忙期が来る前に是非、町でもエアコンの設置を急務でお願いしたいと思っております。東日本大震災のような大変な目に遭った新地町ですが、各学校を視察させていただきますと環境管理に尽力されておりますので、その為、農林水産大臣賞を受賞することが出来たりとか、そういったこともありました。環境管理の継続を出来るようにしていただければと思います。10月19日付で新地町教育委員会から学校にお便りとメールを出していただきました。不審車両が発見されたとか、そういった、このお手紙では</p>

寺島係長	<p>新潟県で起こった女子児童が犠牲になった事件に例えてお手紙を出していただいたんですけども、町の方でも、私、不審車両の目撃例というのは多くなっているなどというのは実感しております。</p> <p>ICTの研究会等により新地町の小中学校、特に出入りの多い学校ですので、開けた学校というイメージもあるんですけども、そういった面で、出入りが多い学校であるからこそ防犯カメラの点検や見直し、後は足りない箇所に設置をして頂くと子供に限らずなんですけども、新地町からそういう悲惨な被害者が出ないようにということで、是非、町、地域全体の安心、安全を作っていかなければと思っております。以上です。</p> <p>ありがとうございました。 続きまして小林委員様、よろしくお願いたします。</p>
小林委員	<p>大須賀委員と若干重なるかもしれませんが、各学校で学習発表会が行われ、私も福田小に参加させていただきました。その時、福田小学校は駐車場が狭くてという話があったんですが土曜日に行った時には施設とか石とかが整備されて駐車場が広くなり、とても使いやすい駐車場になっておりました。その辺の町の早い対応にとっても感謝しております。また、学習発表会を見学してもやはり福田小学校のICTの活用がととてもすばらしく2年連続で見たんですが、少ない児童なりに先生方が工夫し、またICTの担当の支援員さんたちが工夫されて、とても少人数には見えない大変立派な発表が出来て、町教育として、教育委員会としてICTを進めた結果がそのような形で表れているなど感じてとても嬉しく思いながら見学させていただきました。建物に関してですが、青少年教育の立場で、青少年育成に若干、関わっております、先日、青少年ホームを利用させていただく機会がありました。そこでもやはり調理場の施設の老朽化というか、今の時代に合わない洗面台の狭さなども感じまして、そういった面でも施設の改修なりあるいは点検といったものが必要なのかなということをととても感じました。やはり大須賀委員もおっしゃったエアコンや防犯カメラの設置など、そういった形での施設に対する建物の点検とか管理といったものを専門的にする様な形での管理課みたいなものが需要ではないかというのを強く感じましたので、今後の町行政としてもその辺の課の設置というのを検討していただければなど感じてきたところです。また、新地町に20年以上住んでいますが、新地町ってどこ？新地町に何があるの？とよく聞かれます。新地町、独特な場所にあるよっては言うんですけども、なかなか外部の方々にはピンとこないし、来ても、何処に何があるのか全然わからない、駅に行っても大きな看板があってもよくわからないというかたちで、やはり新地町に人を呼ぶというのも一つの施策ではないかなと思います。人を呼べるような物、先ほどありました「やるしかねえべ祭」が終わって今度、その祭りが浜の方に来ると思います。そこで浜に来る人達を呼ぶ為に、今、流行のインスタ映え的なものをそこに設置するなり、また町のシンボルである観海堂、鹿狼山等にも何か人を呼べるようなことをするとか、そういった人を呼ぶような魅力ある事を考えていただきたいと思います。また、それに合った看板の設置ですね、新地町がよく分かるような設置をしていただけたらなど考えておりますので、そちらのほうをご検討いただきたいと思います。以上です。</p>

寺島係長	<p>ありがとうございました。 それでは、最後に佐々木教育長、よろしく願いいたします。</p>
佐々木教育長	<p>私が震災後に教育長として新地町に来たわけですが、その当時を振り返ると非常に混迷な時期だったのかなと思っています。教育に関しての実態調査とか意見などを申し上げながら教育施策を行ってきました。そういった意味から就任当時からを振り返り端的に申し上げますと、町行政の理解と支援がなければ現在の教育の活性化は出来なかつたろうと、やはり指導主事を配置したり、教職員や支援員を確保したりですね、県教委からは教員の加配をいただいております。その他、実態を見ますと生徒で非常に悩んでいるご家庭もありますので、県教委からスクールソーシャルワーカーという専門家を1名、新地町に配置いただいております。その他、この子供達を立ち直らせるには何か目標がないと駄目かなと思ひまして、食育とICTについては国からの支援をいただける国の施策に応募して、今まで遂行してきているわけですが、これについても、本当に教育委員の皆さまはじめ、町、そして皆様のご理解がないと出来ないことでした。非常に協力的で、これが新地町の人々のやさしいところかなと実感しております。非常に感謝してるところでございます。「町づくりは人づくり」と町長さんがおっしゃってたんですが、やっぱり「人づくりは教育から」という形で総合教育会議の時に申し上げてまいりました。幸いこちらに来てから、町教委主催のトライ塾は続けてきましたが、目に見えるトライ塾ということで相馬高校さんにお手伝いいただくという形で長期休業中に行っております。26年からは新地高校、地元にある町の学校であるということで校長先生のご判断で、「地域に貢献できる人づくり」としてコース制を導入していただいております。医療関係も良くしないと駄目だということで、医師になるのは難しいのですが、放射線技師や理学療法士、看護師など、そういったことで医療福祉関係のコースや保育士のコース、介護福祉士のコースの基礎学習を高校で導入されております。あとは、それをどのように生かすかはこれからの課題だろうと思っております。新地町の教育目標「夢を育み、可能性を伸ばす」とあるんですが、これは、人は一人では生きられない社会的生物ですから、安心安全を守ってみんなで互いに協力し合っていかなければならない。道徳教育が出てきたことで非常に良かったということとICTを行ったことでみんなで情報を共有して、意見を発表する人、それをまとめる人、そういった面では発表する力が見違えるほど付いてきました。話すようにもなりました。ですから、学力面も目に見えて伸びております。ただ教育を行う時には基本理念がないと難しいんですね。私は若い時からソクラテスの「産婆術」といひまして、「引き出しの神」であろうと、「その子の才能や長所を見つけて伸ばしてやるのが大事」ということを各先生方をお願いしているところがございます。さらに、気づいて、あるいは知ったりすることで何かを発見したり創造したりできる力を養う。これがICT活用なんですね。機器を活用して広く情報を収集して、それを活用する。それが、今、予想以上に上手くいって成績も伸びています。今、委員さん方の話を聞いて、社会教育、公民館活動、図書館、文化財、これも震災直後よりは本当に進歩がある。町行政のバックアップもあって、食育では農林とも一緒になったり各課、横の連携を大切にして協力し合っていることは確かなんです。ですからそういった面で教育委員会ではこれからも、教育長としてもプラス思考で建設的に物事</p>

寺島係長	<p>を提案しながら各課を通じて役場、行政側にお願いし、あるいは学校の先生方にも、教育のプロですからそういった目でみていただきたいと思いません。県の社会教育委員をやられている校長先生もいらっしゃると思いますので、是非、県の施策も取り入れたりして、これからますます活性化させていきたいと思えます。課題も委員の皆さんが言われた通り多いことは事実なので、それは真摯に受け止めたいと思えます。教育全般にわたり、今できることとこれから出来ることとあると思えますので意見をお聞きしながら的確に判断して頑張ってもらいたいと思っております。以上です。</p> <p>ありがとうございました。 それではPART3を終了させていただきます。</p>
寺島係長 大堀町長	<p>それではPART4に移りたいと思えます。 本日の会議の締めくくりといたしまして、町長に感想を交えながら、まとめの言葉をいただきたいと思えます。よろしく願いいたします。</p> <p>各委員の方々にそれぞれ教育に関する思いを出していただきました。ただ、その中で町として出来る部分と努力はしたいがという部分、あとは努力するしかないんですが、そういった思いであります。私自身も教育は大事だと思っております。ただ教育にすべてのお金を注ぎ込むわけにはいかないということを理解していただきたい。</p> <p>高崎さんからは高野孟矩氏ということで台湾高等のことだと思えながら聞いてたのですが、残念ながら言われる通り町民の多くは知らない。氏家閑存すら知らない方もたくさんいるかもしれません。そういった中で、やはり町のそういった歴史の方々を誇りに思えるように是非そういった場所は今後検討して町民に情報提供していきたいと思っております。</p> <p>森委員さんからありましたが学校の修理等は、小さいうちに修理をしていくのが、施設の長期使用に耐えられるようになると思えますので、小さいうちに出来るだけ財政処置が出来る範囲で対応していきたいと思っております。生涯学習課の復活についても出ました。ただこれは、非常に、県、国からかなりしほりがあるということも理解してほしい。町ではどんどん人を増やして皆さまのご要望にお応えするように、やっていければ良いのですが締め付けは厳しいので、たぶん今、総務課長は困ったなと思っております。そういった中で今、新地町の行政マンもかなり少なくて他県を含めて応援をいただいている状況がございます。これらについては生涯学習課の設置あるいは先ほど小林委員さんからあった管理課の設置等々、これは今後の課題とさせていただきますと思っております。図書館の充実は今まで通り一定程度、質を落とさないように頑張るしかないと思っております。県内でも悪い図書館ではない。蔵書の数を見ればかなり上位のほうではないかと思えます。ただ、人の配置となると先ほど言いましたけども色々あることも理解していただければと思えます。</p> <p>大須賀委員さんから出たエアコンの設置等々については、私の公約の中にも挙げておりますし、出来るだけ早く実施をする方向で教育委員会にもお願いをしておりますので、あとは財政と調整しながら行っていきたいと思っております。不審車両の部分については、今回は教育委員会の早い対応で学校へ文書を出していただいて良かったと思っております。防犯カメラの維持管理の部分で、今、何カ所か付いていると思うのですが、それだ</p>

けで良いのか、あるいはそれがきちんと機能しているのか、それらを含めて点検をしながら、そしてあまり監視されると駄目だという人達も多くいるということも念頭におきながら対応していきたいと思えます。

小林委員から出た福田小の駐車場、隣にある新地福社会の土地の部分です、理事長という立場の時にお貸ししますよということで西側の部分を使っても良いとは言っておりました。出来れば職員の方が、足が汚れないように町で簡易舗装をして、そこに今のところ法人としてあそこに色々な物を作る予定がないので、福田小の先生方や父兄の方の駐車場として使用していただければと思っております。これは福社会と町と調整しながら対応して、出来ればそういう環境にしていきたいなど、ただ若干、駐車場は確保したのでそれで対応できるのであれば、それはそれで良いと思えます。人を呼べる町づくりという部分については今後、他の課とも調整しながら出来るだけ頑張って、新地町の交流人口を増やそうということで理解しておりますのでそのようにしたいと思っております。教育長さんの部分については省略をさせていただきます。

皆さんの意見を十分にお聞きしてこれからの教育行政の部分、そして町が一体となる部分については一生懸命にやっていきたいと思っております。

復興がまだ道半ばであるということも頭におき、あと3年ちょっとですかね、復興の計画が終わる段階に、そういった事を考えるとですね、もう少し人的にも、財政的にはほとんどそっちにいてない、復興は復興の予算がきますから、一般財源での部分というのは、今まで通り教育委員会を含めて実施をしていきたいと考えております。やはり教育もすべてそうなんですけどハードとソフトが表裏一体でやっていかなければならないと思っております。表裏一体で上手く回り出せば良い方向に行くのではないかと思います。それらをこれからも町民の皆さんと一緒に頑張ってやっていきたいと思えます。学校教育には課題が山積しておりますが、さらに家庭教育、社会教育、特に家庭教育の部分が若干、薄いかなと言う思いを私自身はしています。やはり道德の基本は家庭で教える、家庭教育が非常に大事だと思っておりますので、そういった部分で教育委員の皆さんには色々ご苦労があらうとは思いますが地域に根ざした家庭教育、社会教育を含めて、一生懸命にお互い協力し合いながらやっていきたいと思えますのでよろしく願いをいたします。あとはですね、私は、財政のほうにいて町の予算が見えるものですから、直ぐに分かりましたとは言わなくて申し訳ないと思えます。ただ約束したものは確実にやっていきたいと考えております。学校・家庭・地域が三位一体で一生懸命にやらないとこの地域の子育てについても問題が出てくると思えますのでよろしく願いをしたい。そして先ほど「人づくりは教育から」と教育長からお話がありましたが町の行政は復興とのバランスを取りながらやっていかざるを得ないと思えますので、一生懸命バランスを考えながら教育行政についても力を注いでまいりたいと思っております。教育委員の皆さんには色々な意見を出していただきましてありがとうございました。ただ本来はこういう会議だけでなく常に意見を出してもらったほうが一番よいのかな、やはり教育行政の中核を担う教育の皆さんです。教育長の元気だけでは保てないところもありますので、是非、皆さん方が元気になって新地の教育をどうしていくかということを実際に考えてほしい。私もその部分については一生懸命に考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いします。以上です。

寺島係長

ありがとうございました。

皆さまから本日の内容についてご質問等ございますでしょうか。皆さまから御意見等、ご質問等なければ最後に総務課長より事務連絡を申しあげまして、「総合教育会議」を閉じさせていただきます。

それでは、総務課長、閉会の言葉をよろしく申し上げます。

それでは閉会の前に事務連絡を申しあげます。来年度の「総合教育会議」についてですが、定例会としては今年度と同様に年1回、10月開催で予定しております。

来年度の日程につきましては、後日お知らせいたしますのでよろしくお願いいたします。

岡崎総務課長

それではこれで、平成30年度「総合教育会議」を終わります。

本日はありがとうございました。

(10時30分会議終了)